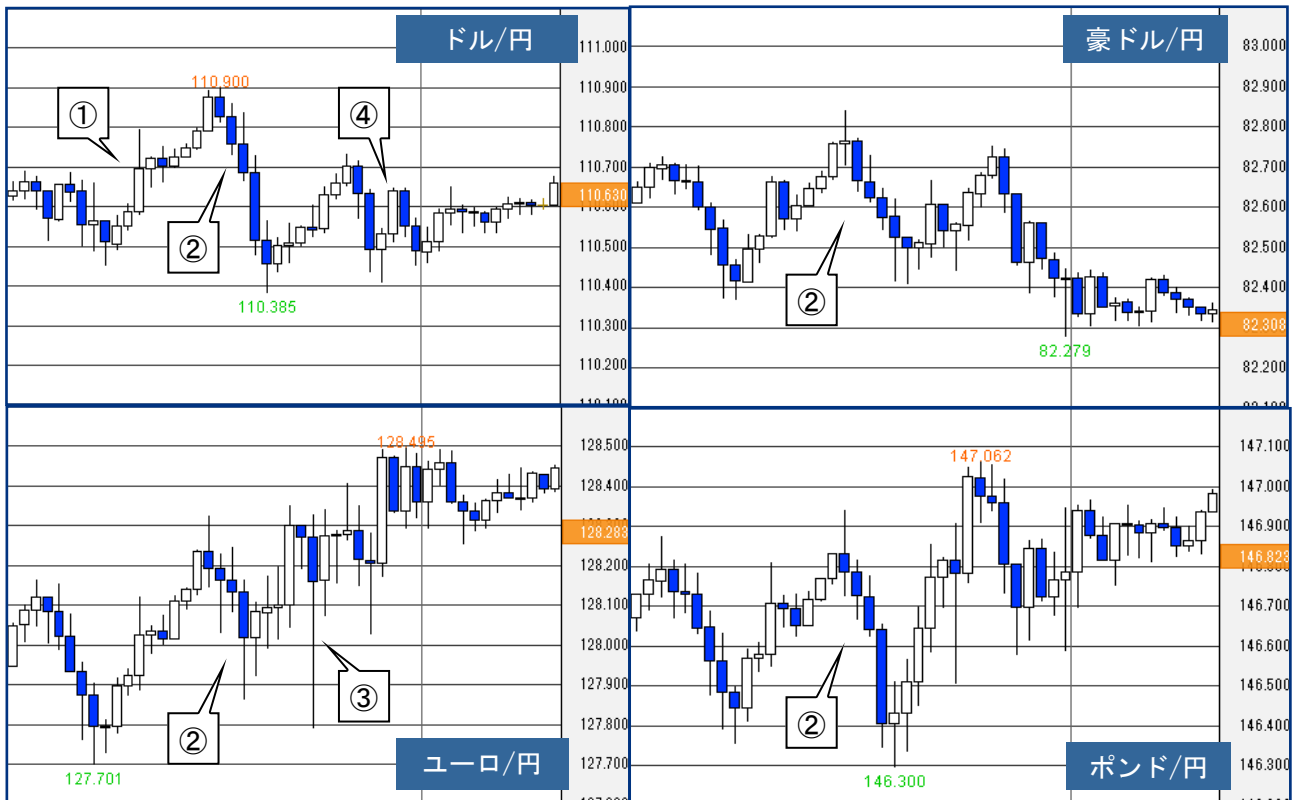


6月18日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

貿易戦争によるドル安は続かず

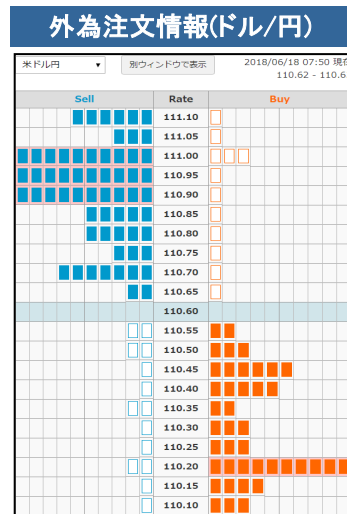
15日(金)の為替相場



期間：15日(金)午前6時10分～16日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 日銀は金融政策決定会合で、短期金利を-0.10%、長期金利を0.00%程度に抑える現行の大規模緩和の維持を決定。声明では「消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は0%台後半」として、物価の現状判断を従来の「1%程度」から引き下げた。ただ、「(物価目標の)2%に向けて上昇率を高めていくと考えられる」との見通しは維持した。前々日に米連邦準備制度理事会(FRB)が利上げを決めた経緯もあって、日米の金融政策のベクトルの違いが意識される中、ドル高・円安に振れた。なお、黒田日銀総裁はその後の定例記者会見で「現在の金融フレームワークには物価押し上げ効果が内在されている、継続していくことが重要」として、大規模緩和を継続する方針を強調するとともに、「出口に関しては適切な時期になってから対話しなければ混乱を招く」との見解を繰り返した。
- ② 米国は、暫定案として公表済みの500億ドル相当の中国製品を対象とした関税に加え、1000億ドル規模の関税リスト第2弾をほぼ完成させたと報じられた。これを受けて、米中貿易戦争をめぐる懸念が高まり円買いが活発化。なお、中国はその後、「米国に対して同規模の報復措置を直ちに講じる」と表明した。
- ③ 「独キリスト教社会同盟(CSU)のゼーホーファー党首が、メルケル独首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)との連立を解消すると宣言」と報じられると、一時ユーロ売りが強まったが、CSU幹部がすぐにこれを否定するとユーロ売りは収束した。
- ④ 米5月鉱工業生産は前月比-0.1%と予想(+0.2%)を下回ったが、その後発表された米6月ミシガン大消費者信頼感指数・速報値は99.3と予想(98.5)を上回った。

15日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22851.75 △113.14	6094.029 △77.394	3021.901 ▼22.259	7633.91 ▼131.88	13010.55 ▼96.55
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25090.48 ▼84.83	0.0380% ▼0.0050	2.693% ▼0.029	1.328% ▼0.006	0.403% ▼0.024
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5471% ▼0.0163	2.9205% ▼0.0146	65.06 ▼1.83	1278.50 ▼29.80	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.100-111.300	127.400-128.700	81.700-82.700	145.800-147.300

【ドル/円】

15日のドル/円は、日銀と米連邦準備制度理事会(FRB)の政策ベクトルの違いが意識されて110.90円前後まで上昇したが111円台に届かず失速。もっともその後、米中貿易戦争への懸念から円が買われても、下値は110.30円台どまりであった。

「金融政策のコントラスト」によるドル高・円安と「貿易戦争をめぐる懸念」の円高・ドル安。ドル/円は本日も、どちらの影響力が強いかを模索しながら方向感を探る事になりそうだ。ただ、米国による関税強化は、諸外国の対米輸出(ドル売り)を減少させる政策につき、ドル売り材料としての根拠は薄い。主要国の株価が崩れない限り、ドル/円の下値は堅いと見られ、110円台前半はサポートされそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/18(月)	23:00		(米) 6月NAHB住宅市場指数	70	70
	26:00		(米) ポスティック・アトランタ連銀総裁、講演	—	—
	26:30	○	(ユーロ圏) ドラギECB総裁、講演	—	—
	29:00	○	(米) ウィリアムズ・NY連銀総裁、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com